

## サント・ドミンゴ市 エキスポ・アート 2025

令和7年（2025年）2月25日

1月30日から2月9日までサント・ドミンゴ市で開催された「エキスポ・アート 2025」において、日本は特別招待国として参加・出展し、様々な日本文化の紹介を行いました。サント・ドミンゴ文化協会により同市の支援を受けて開催される「エキスポ・アート」は、本年35周年を迎え、開会式には、伊藤大使と共に、ロドリゲス・サント・ドミンゴ市長、ペラルタ文化協会会長ら多数が出席しました。



（左から）ペラルタ会長、伊藤大使、  
ロドリゲス市長



さくら色の和装でサント・ドミンゴ市民に  
あいさつする伊藤大使

開会式のクライマックスは、中央日本人会・ハカランダ合唱団による日本の童謡のコーラス披露でした。浴衣を着たハカランダ合唱団16人のメンバーが、懐かしい定番曲から新しい合唱曲まで、多彩な音楽で魅了しました。最後は、同合唱団を率いるソプラノ歌手・小宮美香さんによる独唱で締めくくられました。



ハカランダ合唱団のメンバー



歌手 小宮美香さん



会場内に設けられた日本文化の展示の様子。浮世絵や日本人形、カレンダーなどが展示された。

「エキスポ・アート 2025」はサント・ドミンゴ市内のヘレン・リー・ラッセン学校において実施され、全てのイベントは入場無料で開催されました。会場内には、浮世絵や日本人形などとともに、ホセ・バルメス、ガルシア・バリオス、マリオ・トラル、クラウディオ・ディ・ジローラモ、サントス・チャベス等といった著名な芸術家の作品も多数展示され、開催期間中、約4,400人が来場しました。



中央日本人会ひまわり会の協力により実現した着物レクチャー・ショー



書道ワークショップ



ふろしきワークショップ

在チリ日本国大使館からは、会場内の展示に加え、中央日本人会ひまわり会の協力を得て着物レクチャー・ショーを実施したほか、マルセラ・チャンディア日本語講師による日本文学と自然に関する講演会、書道ワークショップ、ふろしきワークショップを実施しました。

それらに加え、多数の日本文化関係団体・個人の協力の下、武道デモ、茶道デモ、折り紙ワークショップなど多くのイベントが開催され、盛況に終わりました。



マルセラ・チャンディア氏による文学レクチャー



合気道ワークショップ

「エキスポ・アート 2025」での日本文化紹介が、サント・ドミンゴの多くの市民にとって日本とその文化に直接ふれあう機会となったことを期待いたします。また、特別招待国として招待して下さったサント・ドミンゴ文化協会に改めて御礼申し上げます。